

大垣市環境市民会議

NEWS(No.4)

6月といえば初夏、今年も半年が過ぎようとしています。大いに野外活動が盛んになり、人が動けば「ごみ」が多く出ます。

先日、名古屋駅で電車に乗るとき、若い乗客が菓子の箱と包装紙をプラットフォームに捨てた情景を目撃しました。どうゆう感覚なのか理解に苦しみましたが、家庭での教育の問題と感じました。

第2回全員協議会開催される！

大垣市の望ましい環境づくりを目指す当市民会議の全員協議会をスイトピアセンター・学習館で開催しました。

当日は、会員約40名が出席し、初めに森孝之会長があいさつをした後、昨年度の事業報告をし、本年度の役員を選出。

さらに、本年度の活動方針を各部会から提案があり、承認されました。

各部会の主な活動方針は、次のとおりです。

【水と緑の部会】

- (1) 既に何十年も活動しておられる会員の現状をお互いに見学させていただきます。
- (2) 大垣市及び周辺地域の環境について調査・研究を進めます。
- (3) (2)以外の地域についても調査・視察・交流を積極的に進めます。
- (4) これらの活動の中から部会としてのテーマを見つけ出します。

【くらしの部会】

マイバッグ運動の活動を中心として、その他、個々の部会員のグループの活動の支援を行います。

【学習の部会】

- (1) 多くの情報の中、正確な情報を得るための学習の機会を作り、その情報を共有した上で、自由に思いを出し合える場としての部会を進める。
- (2) 子ども向け自然体験型環境学習会の実施
- (3) 自ら学習を進めながら、環境教育をコーディネートできるように人材バンク作りの実施

◎第10回運営委員会報告(5月22日開催)

情報工房2階会議室3で開催され、討議された案件は次のとおりです。

- (1)各部会報告:後記参照
- (2)第3回市民環境フェスティバルについて
- (3)第2回全員協議会について

平成14年6月1日、スイトピアセンター学習館で開催予定。

内容は、平成13年度事業報告、ならびに第2回市民環境フェスティバル事業報告と収支決算報

告、平成 14 年度事業計画案、収支予算案の検討、パネルディス カッション形式での各部会報告と活動方針の発表と意見交換、また岐阜放送が製作した第 2 回市民環境フェスティバルのビデオ放映も行う。

◎各部会からのお知らせ

●第 10 回水と緑の部会 (5 月 24 日開催)

「南市橋杭瀬川のホタルを守る会」の現地見学会を南市橋町中島橋付近で行いました。

今後の予定は、

- 6 月…全員協議会での室内研修
- 7 月…揖斐川水源地視察
- 8 月 3 日…加賀野名水保存会活動視察
- 9 月…長良川水源地視察
- 10 月…西之川ハリヨ保存会活動視察
- 11 月…学校ビオトープ見学 など

●第 6 回くらしの部会 (5 月 9 日開催)

情報工房 2 階会議室 3 で開催され、先月お知らせしました三重環境県民会議の視察報告がありました。

5 月 1 日に三重環境県民会議事務局(三重県環境事業団内)で、三重環境県民会議から代表の朴恵淑さん、県民運動企画委員会企画部会の北村早都子さん、そして事務局の岩佐康司さんの 3 氏から説明を受けた。

朴代表からは三重環境県民会議の紹介があり、三重県の助成金を基金として、市民団体・事業者・学識経験者・行政などからなるワーキンググループの話し合 いや公開討論会を経て設立されたとのこと。三重県下各地で行われる自主的な環境活動を啓発し、環境県民運動を広く展開することが目的であり、組織は同会議 の事業の企画及び実施にあたる「県民運動企画委員会」(レジ袋部会と自然環境部会)と、助成金申請および三重環境県民会議の予算を審査する基金審査委員会 で構成されている。

また、「レジ袋ゼロ運動」についての紹介もあり、レジ袋をゼロにすることは実際には不可能だが、ただで配る・もらうサービスとしての袋はゼロにしようという思いでのキャッチコピーであるとのこと。本来は有料にしたいが、事業者からの抵抗が大きく、また会議内部からの抵抗もある。

しかし、あえてこの運動に踏み切り、始めは 26 社の食料品店などからスタートし、現在は 300 以上の店舗が参加している。

そして、会員を持たないのは 186 万県民すべてが会員という考えである。

三重環境県民会議の運動から学んだことは、

- (1) 消費者と販売者と行政の 3 者がしっかり連携をむすぶこと
- (2) 一斉に、そしてどこでもいつでも、いろいろな媒体を通じて呼びかける。つまり消費者にとっては、繰り返し様々な方法で「レジ袋削減」について問い掛けられる運動を考えること。
- (3) 他の地域で実践しているところとの情報交換や連携。

(4) 実施してゆくスタッフの増強、人の発掘や人的パワーを作り出すこと。

以上

くらしの部会では、今後レジ袋削減・マイバッグ持参運動を、どのように展開してゆくか、10月の全国キャンペーンに目標を合わせて立案実施したい。

●第12回学習の部会（5月10日開催）

情報工房 2階会議室 3で開催され、次のとおり講演があった。

(1) 講演「ケナフを使った紙すきから気がついたこと」

講師は田中利枝氏(学習の部会員)で、講演内容は次のとおりです。

- ・ケナフを取り上げた経緯
- ・ケナフが葉書になるまでの主な手順
- ・紙すきの実践から学んだこと、活動から得た貴重な意見

(2) ディスカッション

- ・紙すきによって、より環境を意識するようになった。
- ・「環境問題」は、人間が幸せになろうとして生み出したもの。結果として地球を汚すことになってしまった。「ごめんなさい」の気持ちで活動をしている。
- ・手を動かす、活動することに意義がある。「紙」を作るのは大変だ。「紙」を大切にしよう！となれば良いのでは。
- ・人間としてどう生きたいのか。どんな人間になっていきたいのか。を学ぶようになってきた。何が正しいのか。それを見極める能力をつけていくことが大切である。

(3) 今後の活動について

- ・多くの情報の中で生活している我々が、いかにして正確な情報を入手できるか、その辺を学習したい。
- ・大垣が少しでも良い町といわれるように活動を進めたい。
- ・情報収集の場だけでなく、自由に思いを出し合える場でありたい
- ・本物を見極める場として、何でもいえるのが良い。

次回、部会案内

【水と緑の部会】

* 7月(揖斐川水源地視察)…詳細は未定

【くらしの部会】

とき:平成14年6月13日(木) 午後7時から

ところ:大垣市情報工房 2階会議室 3

【学習の部会】

とき:平成 14 年 6 月 14 日(金) 午後 7 時から

ところ:大垣市情報工房 2 階会議室 3

演題:「水事情～地球視点から身近なところまで」

講師:小林良二氏(環境カウンセラー・学習の部会員)